



# 地域に関かれ、 地域から求められる大学をめざして

北海道医療大学地域連携推進センター長 坂野 雄二  
心理科学部特任教授

## すみません、少し堅苦しい話から スタートしますが…

社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、21世紀の新しい健康科学の構築を追究するという行動指針に基づいて、本学では地域連携の基本方針・施策として、次のようなことを掲げています。

①医療・保健・福祉に関わる地域の「知の拠点」として、積極的に地域の活性化に関わり、地域に関われた大学を目指します。地方自治体等との連携事業を積極的に行い、大学は地域発展のためのシンクタンク機能を果たします。

②地域の課題に関心を持ち、解決に積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を推進します。また、そうした人材を育成するための質の高い教育・研究環境を整え、地域課題の解決を目的とした研究活動を活性化します。

③地域の「知の拠点」として、本学が持つ知的な財産を地域社会にフィードバックする活動を積極的にを行います。

本学は開学以来さまざまな地域貢献活動を行ってきましたが、時代のニーズに応え、大学として地域連携・貢献活動を一層活性化するために、2015年4月、地域連携推進センターが設置されました。

## 地域連携推進センターは 何をやっているの？

それでは、地域連携推進センターの事業について、最近の話題を簡単に紹介したいと思います。

本学は2013年に滝川市、および当別町と包括連携協定を締結しました。

滝川市とは、各種連携事業を開始するために直ちに連携協議会が立ち上げられ、いくつかの部会を組成して連携事業がスタートしました。さまざまな教育研修事業への教員の派遣、市内医療機関での調査研



当別小学校での出前講座



究の実施、本学学生の臨床実習の受入れ、スクールカウンセラー事業への参画等、連携事業は多岐にわたって現在に至っています。今、滝川市との連携事業は、新たに地域の課題を明確にし、その解決に向けた次のステップに進もうとしています。

一方、当別町との間では2016年に連携協議会が設置され、共同作業が始まりました。もちろんそれまでも、多くの教職員、講座等が当別町の各部署と協力しながらさまざまな活動を行ってきました。しかし残念なことに、大学としてそれらの活動をバックアップする体制は弱く、大学としてどう連携し、成果をどう情報発信するかという点も十分検討されていませんでした。そこでセンターと当別町では、各種連携事業の窓口の一本化を図り、大学と町が連携の有り様を俯瞰する中で課題を共有し、効果的に連携事業を行うこととしました。連携協議会は月1回開催され、活発な議論が行われています。

これまで、町の「学生居住1,000人計画」の実現に向けて協力する中から、学生にとって生活しやすい街づくり(各種町内インフラの整備、快適な居住空間の増設・改修、学習可能な施設の確保等)に取り組んできました。また、大学関係者からのふるさと納税の連携事業への還元、学生の意見を町政に反映するためのタウンミーティングの開催、JR北海道医療大学駅

の利便性の向上、町政に関する調査研究の受託、大学病院の積極的活用に向けた啓発、町内小学校での出前講座、高齢者の健康増進・福祉に向けた各種事業等、多くの事業を共同で展開しています。

また、2017年には北海道教育委員会と包括連携協定を締結し、いじめ対策など北海道の教育現場が抱える課題の解決に向けて、本学の持てる力を発揮しようと連携活動が行われています。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの養成という本学の教育活動と積極的にリンクすることができるような方策が模索されています。

ところで、本学はこれまで、教職員や同窓会の協力を得ながら、生涯学習事業としてさまざまな情報を発信してきましたが、2018年度からその一層の充実を図り、からだと心のケアに関する講座、生活に関する講座、教養講座、ジュニア講座、子育て講座、専門職向け講座という6つのカテゴリーに分け、58講座が開講されています。また、大学病院においても、心身の健康に関する啓発活動が積極的に行われています。

## 地域との より良き関わりをめざして

超高齢社会の現在、医療、保健、福祉、教育は地域の特性を考慮して進められなければなりません。地域の課題解決を行うことのできる医療人育成のために、地域連携・地域支援を全学的な教育の課題として位置づけることも必要です。地域連携は、文字どおり地域との連携だけではなく、大学における研究・教育に大きく関わっていると言えるでしょう。地域連携推進センターに課された課題は大きいと言えます。また、地元自治体との連携をバネとして、さらに産業界や医療保健福祉関連の事業所等との積極的な連携が進展することが期待されています。

今後とも、北海道医療大学の地域連携活動に厚いご支援をお願いいたします。



タウンミーティング